





「今朝のセックスもすげよかったですわ〜♡せんぱいがチンポを根本まで突っ込んでくるのが気持ちよすぎて、簡単にイカされちゃいました♡」

私は先輩に向かつて、お尻を突き出しました。先輩は私の大きなお尻が大好きです。いやらしくお尻を振って、チンポを誘います。

ぱりん♡

ぱりん♡



「あんの♡お尻ナデナデされるの気持ちいいー♡」

普段からさらわれているせい、  
お尻が感じやすくなっています。  
力強い手で尻をもまれると、  
簡単にオマツコを濡らしてしまいます。

あ♡

あ♡

オマツコ♡

ナデ

ナデ



先輩は私のお尻をしつこくくわいな  
なでまわしたり、もみしだいたりしてきます。  
私もそれが大好きで、  
イキそうなほど感じてしまいます。

ア  
〜  
♡

ア  
〜  
♡

もみ!

もみ

又キ…



うっ!!

ズポ  
ズポ  
ズポ

ズポ!!

「あーんっ!?  
チッポはいつたあ!  
すすぞおい♡♡  
きもちい♡♡

先輩は私のお尻をなでて  
チッポを挿入してきました。

ズポ♡

ズポ♡

ズポ♡



ズッコッコ♡

はあ!!  
はあ!!  
ズッコッコ!!

110 110  
110 110

「あんあんあん♡  
もっとお♡私のおしり  
楽しんでくださいあいー!

先輩は腰をお尻に  
打ち付けるように激しく振ってきます。  
私はお尻をしっかりと突き出して、  
手ツポがオマツコの中を  
ほじくる快感に身をゆだねます。

あ♡

は♡





「おっおっおっ♡  
腰振り速くなってきたあ♡  
射精ですおー思いつきり♡  
精子をうちこんでくださあ♡

おお♡

おっ♡

ズズズ♡

ズズ♡  
ズズ♡

おっ♡  
おっ♡





あゝ♡

は♡

コエ〜っ!? まだ出てる!!  
すごいよあ♡私のおしり、  
そんなに気持ちよかったんですか!?  
うれしく♡全部オマツコの中に  
出し切ってくださいあ♡

ア〜っ!!

ア〜っ!!

びびり!!

びびり!!

ゴゴ

ゴゴ

「はーっ、はーっ……♡  
先輩のチンポ、  
すげかったあ……♡  
やっぱ、セックスって  
最高ですな♡

私は先輩に射精されて、  
最高に気持ちよくイキました。  
オマシゴから先輩の精子をたぐりしながら、  
セックスの余韻をじっくりと味わいました。



は♡

は♡

ビク♡

ビク♡

ビク♡

ポ♡

「とマコで、催眠には  
いつかかるとは、自分の意思で  
セックスをしてるんですけどね。」

「当たり前ですが、私は今日の催眠にも  
まったくかかりませんでした。  
ちやんと自分からセックスを楽しめたし、  
とても気持ちよくイクマことができました。」



は、♡

は、♡

ビク♡

ビク♡

ビク♡

ポタッ